

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|------------------------------------|-------|-------------|
| 事業所番号 | 3470501168 | | |
| 法人名 | 医療法人社団 和恒会 | | |
| 事業所名 | グループホーム ふたばの家 | | |
| 所在地 (電話番号) | 呉市広白石四丁目7番30号 (電話) 0823-76-4566 | | |
| 評価機関名 | 社団法人広島県シルバーサービス振興会 | | |
| 所在地 | 広島市南区皆実町一丁目6-29 | | |
| 訪問調査日 | 平成21年10月8日 | 評価確定日 | 平成21年10月19日 |

【情報提供票より】(21年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------------|-----------------------|--------|
| 開設年月日 | 平成 13 年 4 月 1 日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 7 人 | 常勤 6 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 | 6.05 人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|---------|-------------|
| 建物形態 | 併設 / 単独 | 新築 / 改築 |
| 建物構造 | 鉄筋 造り | |
| | 2 階建ての | 1 階 ~ 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------|-------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 2,000/日 円 | その他の経費(月額) | 光熱水費 500円/日 | |
| 敷金 | 有(円) | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 | |
| 食材料費 | 朝食 | 400 円 | 昼食 | 700 円 |
| | 夕食 | 700 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり 円 | | | |

(4) 利用者の概要(10月8日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|---------|---------|----|-----|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 名 | 女性 | 9 名 |
| 要介護1 | 2 名 | 要介護2 | 4 名 | | |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 1 名 | | |
| 要介護5 | 名 | 要支援2 | 名 | | |
| 年齢 | 平均 85 歳 | 最低 78 歳 | 最高 93 歳 | | |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------|
| 協力医療機関名 | ふたば医院・西田歯科医院 |
|---------|--------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム「ふたばの家」では、常日頃から理念は事業所がめざすサービスのあり方を映し出していくものと、全職員がよく理解した上で、理念を具体化して、明確な目標を持ちながら支援に取り組まれている。また、管理者の熱意や真摯な取り組み姿勢は、職員にもよく伝わっており、入居者のために、「自立した生活の場を作り、職員は入居者一人ひとりの個性を大切にしながら、「見守り」に努められていることも伺えた。認知症ケアは迷いの連続であるが、本人と家族を中心に全職員がチームを組んで支え、最良の判断となるように、ともに考え、苦労をわかちあわれている。ホームの外は整理整頓が行き届いており、入居者と職員の明るい笑顔と、笑い声が随所に見られ、安心とリラックス出来る環境作りとなっている。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|------|--|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、今以上に日々のサービス提供場面において、理念が反映されていくことが望まれていたが、その後全職員で話し合って理念を掘り下げて目標を策定し、共有しながら支援に取り組まれている。目標に掲げている職員が出勤の際には、全入居者の方々に「明るく、元気よく挨拶」をすることは、励行されており、入居者からも多くの笑顔が返っている。 |
| | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 評価を日常のサービスを振り返る良い機会と真摯に受け止めている。評価の結果を踏まえてミーティングの場で、改善点やサービスの成果等について検討している。 |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、関連の介護事業所と合同して地域の幅広い立場の人たちが参加して開催されており、会議の場では運営理念や状況を報告し、意見交換を行っている。その結果、認知症やグループホームの理解が地域に深まっている。ホームからの情報発信だけでなく、地域からの情報収集を含めて、地域との更なる結びつけを模索している。より有意義な会議になることを期待したい。 |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 職員は明るく笑顔で家族と接しており、家族も直接面談したり、要望を伝えている。内容によってその場で話し合ったり、介護計画に反映させている。「要望及び苦情等の相談」については、入居時に説明されており、苦情等があった場合には、直ちに検討し、家族の立場に立った説明を行っている。 |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 散歩や買物などに出かけ、顔なじみになっている方もいる。また、案内があった敬老会に出席したり、地域の高齢者が主催する近隣の生き生きサロンに参加し、町や多くの人達の力を借りてふつうの暮らしをいっしょに楽しむことに努められている。 |

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|--|---|-------|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | グループホーム開設時から地域との関係を大事にしており、理念にも入居者と地域をつなぎながら、その人らしく暮らせる支援を謳っている。 | | |
| 2 | 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 管理者と職員は日々のミーティングや実践の中で、理念の確認を行っている。入居者への言葉かけや接する態度、毎日のケア記録にも理念を具体化していることが伺える。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 入居者の方々が、地域社会とつながりながら当たり前の暮らしを続けられるよう、地域の諸行事には、入居者と職員が積極的にともに参加し、地域の方と一緒に活動を行うようにしている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 評価を日々の実践の振り返りや、更に質の高いサービスを目指す良い機会としている。自己評価は、まず全職員で話し合っ取り組んでおり、その結果を踏まえて改善にむけて具体案の検討や実践につなげている。 | | |
| 5 | 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 日常の状況報告や、家族及び地域の意見を伺う場にもなっている。また、会議を通じて地域に認知症やグループホームに対する理解が年毎に深まっている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|---|---|-----|-----------------------------------|
| 6 | 9 | 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 行政や地域包括支援センターと連携を保ちながら、困難事例等について相談している。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会時には必ず声をかけて、日頃の暮らしぶりや健康状態等を報告している。また、定期的に手紙でも日頃の様子を知らせている。 | | |
| 8 | 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族が話しやすい雰囲気づくりを心掛けられており、家族の小さな要望や意見等もその発生要因を探り、課題を検討し、質の向上に活かされている。 | | |
| 9 | 18 | 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 近年は、職員の異動や離職はないが、やむを得ず異動がある場合には、その異動が新しい風になるようにしている。また、異動にあたっては、事前に入居者と接したり、引き継ぎ期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人全体で採用年数に応じた職員研修があり、実践されている。外部研修会への参加希望があれば、勤務体制を工夫しながら参加をしている。また、研修参加者からの報告は、良い勉強の機会にもなっている。 | | |
| 11 | 20 | 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 外部の研修会等に参加した機会を捉えて、他の事業所の人材と意見交換や情報交換を行いながら、質の向上に取り組んでいる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|--|---|-----|----------------------------------|
| .安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居前にはホームの見学や、短い時間でも遊びに来てもらったり、職員が自宅訪問するなどして顔なじみに少しでもなる様に努めている。また、家族とも事前に丹念に本人が「自宅にかわるような場」で暮らし続けられるように、情報交換や話し合いを行なっている。</p> | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>職員は入居者を家族の一員として、また、人生の先輩として接している。入居者から教わる人生訓や、生活の知恵に共感することも多い。</p> | | |
| .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>入居前の生活環境等の情報だけでなく、日々の関わりの中で入居者の思いの把握に努めている。会話、つぶやき、何気ない仕草、行動等から得られた情報を、全職員が共有しながら、日々の支援に活かしている。</p> | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>今までの介護計画サービスを見直していくために、職員が気付いたことを取り入れ入居者にとって、必要かつ大事なことであれば変えていく努力をしている。一人ひとりの介護計画サービスをわかりやすくまとめ、確認しやすいよう工夫している。</p> | | |
| 16 | 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>3ヶ月毎に評価を行い、計画を見直されている。状況が変化したり、家族からの要望等によっては、期間終了前であっても柔軟に見直しされている。</p> | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|----|--|---|-----|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用) | | | | | |
| 17 | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 医療連携加算を活かして、24時間体制の健康管理が強化されている。一時帰宅や外泊、遠出の支援も行われている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人や家族の希望に沿って、全員が入居前のかかりつけ医で受診したり、協力医療機関とは何時でも診察や相談が出来る体制にある。 | | |
| 19 | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 指針がきちんと整備されており、入居時の話し合いで家族等には納得してもらっている。実際の看取りの事例はないが、重度化の場合は主治医との話し合いがきめ細かく行われ、家族や本人の納得が得られている。 | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 人としての尊厳を最大に尊重し、一人ひとりが持っている誇りを大事にしている。羞恥心への配慮も十分なされており、さりげない言葉かけや察知で対応している。秘密の保持及び個人情報の保護と利用目的についても明示され、厳守されている。 | | |
| 21 | 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者一人ひとりが、ゆったりと自分の暮らしの流れで過ごされている姿が見受けられた。大まかな1日の流れはあるが、入居前の自宅での生活の流れに近い形をとっており、外出や買物等の支援も希望に沿って行われている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|--|-----|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員も一緒に食事しながら、和やかに会話を交したり、さりげなく支援を行っている。食材の下ごしらえや、盛り付け、食器洗いなどのそれぞれの役割もある。 | | |
| 23 | 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 本人や家族から一人ひとりの習慣や好みをよく聴いて、相談しながら個別にあった入浴の支援を行っている。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの生活歴をしっかりと見て、役割や楽しみごとの支援をしている。このことは、入居者一人ひとりが生き生きとして、張り合いのある生活を送られている姿からも伺えた。 | | |
| 25 | 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 入居者一人ひとりが、本人らしい力や姿を引き出ししてくれる手がかりとして、その日の天気や希望に配慮しながら、散歩や買物に出かけている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 閉塞感が生じない様、玄関には夜間を除いて鍵はかけられていない。入居者の出入は、職員が目配りや気配の察知で確認している。居室は、何時でも出入ができる。 | | |
| 27 | 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 職員だけの誘導の限界を具体的に確認し、日ごろより、近隣の母体法人、消防署との連携や、運営推進会議を通じて協力を呼びかけている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|--|---|-----|-----------------------------------|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 入居者一人ひとりが1日全体で、栄養や水分確保がどの程度とれているのか、おおよその量を、全職員が常に意識しながら関わっている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感が感じられるような飾り付けをするように、心がけている。玄関やリビングには、入居者の方の作品を展示して楽しんでもらっている。 | | |
| 30 | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各居室とも本人が穏やかに安心して過ごせるよう、本人が大事にしていた家具や小物を持ってきていただいている。また、家族で、季節に応じた好みの衣服の入れ替えも行われている。 | | |

介護サービス自己評価基準

小規模多機能型居宅介護
認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム[ふたばの家]

評価年月日 21年 10月 8日

記入年月日 21年 9月 1日

この基準に基づき、別紙の実施方法
のとおり自己評価を行うこと。

記入者 職 管理者 氏名 白賀 恵美子

広島県福祉保健部社会福祉局介護保険指導室

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|
|----|----|---------------------------------|-------------------|---------------------------------|

理念の基づく運営

1 理念の共有

| | | | | |
|---|--|--|--|-----------------------------|
| 1 | 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。 | ホーム独自の理念・目標を書いて玄関と事務所に掲げている。 | | |
| 2 | 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | 職員全員で目標を決めて実践している。 (職員が出勤時個別に挨拶する。) | | |
| 3 | 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 | 運営推進会議や家族の人地域の人に話をするようにしている。 | | ホームの行事を案内し地域の人との交流に取り組んでいる。 |

2 地域との支えあい

| | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 4 | 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 挨拶、声かけは欠かさないようにしている。 気軽に立ち寄ってもらえるよう声かけている。 | | |
| 5 | 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | 地域のお年寄りが主催するいきいきサロンに参加したり地元の人に訪問してもらっている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------|---|--|-------------------|---------------------------------|
| 6 | 事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 「認知症を支える家族の会」主催の講演会のお手伝いをしている。 | | 地域の高齢者が集まれるような場所の提供を考えている。 |
| 3 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | 評価を生かし関係者と検討し改善している。 | | |
| 8 | 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。 | 運営推進会議で自己評価、外部評価の結果を報告し意見を参考にしてサービスに生かしている。 | | |
| 9 | 市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。 | 運営推進会議に参加や利用状況の確認など交流がある。 | | |
| 10 | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。 | 成年後見制度は二人の利用者さんが利用されている。介護支援専門員の更新研修で学ぶ機会があった。 | | 地域権利擁護事業、成年後見制度について学ぶよう努める。 |
| 11 | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。 | 虐待等はあってはならないことで、些細なことでも見過ごさないよう気をつけている。 | | 研修会等に参加する。 カンファレンスで話し合う。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|---|---|-------------------|---------------------------------|
| 4 理念を実践するための体制 | | | | |
| 12 | 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 書類と共に説明を行っている。 | | 利用者様やご家族の話を聴き納得できるよう十分な説明を行う。 |
| 13 | 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。 | 利用者様の意見を聴くようにしている。 意見箱の設置をしている。 | | |
| 14 | 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。 | 金銭管理については、定期的に封書で報告している。その他のことは面会時または電話で報告している。 | | |
| 15 | 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | ご家族の意見は運営推進会議や面会時聴くことができる。反映できるよう努めている。 | | ご家族の意見を十分に聴き運営に反映できるよう努める。 |
| 16 | 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 職員に運営に関する意見を聴き運営に反映させてもらっている。 | | |
| 17 | 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。 | 外出時、行事等は職員が多めで対応できるように調整している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|---|---------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 18 | <p>職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p> | 異動は最小限抑えるようにしている。 | | |
| 5 人材の育成と支援 | | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | 法人内外の研修会に参加できるよう努めている | | |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | 地域の同業者や研修会などで話をして情報の交換をしている。 | | 相互の訪問等で交流を持つよう心がける。 |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | 法人の職員旅行に参加する。 | | 集まって食事会などの機会を増やす。 |
| 22 | <p>向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p> | 個人の目標を聴きアドバイスをしている。 | | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。</p> | 初期は本人、ご家族の相談内容をよく聞くよう努めている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------|---|--|-------------------|---------------------------------|
| 24 | 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。 | ご家族の求めていること、思いを聴くことに努めている。 | | |
| 25 | 初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 他のサービスの利用も検討されることも付け加えている。 | | |
| 26 | 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気にならなかに馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 訪問や体験入居等を通しホームの雰囲気に徐々に慣れてもらうよう工夫している。 | | |
| 2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | 本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者様に料理の作り方や風習を教えてもらっている。 | | |
| 28 | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜ぶ哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | ご家族に対して地域のことを教えてもらったり利用者様が楽しめるよう協力してもらっている。 | | |
| 29 | 本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している。 | 本人とご家族が笑顔で話せるよう支援している。 家族会で外出したり、食事会をしたりしている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------|--|--|-----------------------|---------------------------------|
| 30 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 利用者様の希望があれば電話をされたり手紙を だされることなどを手伝う。 | | |
| 31 | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同 士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 孤立しないよう声かけで利用者様同士の親しい 関係ができるよう支援する。 | | |
| 32 | 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要と する利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切に している。 | 他施設に入所された利用者様には他施設訪問時 声かけし近況を聞いている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めてい る。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 心地よい暮らしができるよう一人ひとりに希望 にあわせるよう努めている。 | | |
| 34 | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまで のサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 一人ひとりの生活歴を把握するように努めてい る。利用者様にいろいろな場面で聴くようにし ている。 | | |
| 35 | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を 総合的に把握するように努めている。 | 本人のペースにあわせるように努めている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|----------------------------------|-------------------|---------------------------------|
| 2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 個々にあわせた介護計画を作成するように努めている。 | | アセスメントを見極め個々にあわせた介護計画の作成に努める。 |
| 37 | 状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 状況に応じ介護計画を新たに作っている。 | | |
| 38 | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 職員が情報を共有し、実践し介護計画の見直しに努めている。 | | 今後も職員が情報を共有し実践に努めていきたい。 |
| 3 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 本人やご家族の要望に対してはできるだけ対応するように努めている。 | | |
| 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 民生委員、ボランティア、消防等の協力を得ている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--------------------------------------|-------------------|----------------------------------|
| 41 | 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。 | 他の介護専門員との話し合いや支援はしてもらっている。 | | |
| 42 | 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 地域包括支援センターとの協働は運営推進会議や相談など行っている。 | | |
| 43 | かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。 | 協力病院の担当医の適切な医療が受けられるようになっている。 | | |
| 44 | 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 協力病院が認知症の診断、治療を行っているため相談している。 | | |
| 45 | 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 看護師の訪問時、利用者の健康状態等の相談をしながら支援してもらっている。 | | |
| 46 | 早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 病院との情報交換、相談等を行っている。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|---|-------------------|---------------------------------|
| 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。 | 入居時重度化や終末期の対応については同意書で説明し状態に応じ話し合いするように努めている。 | | |
| 48 | 重度化や週末期に向けたチームでの支援 重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | 利用者がより良く暮らせるよう今後の変化に気をつけ支援する。 | | |
| 49 | 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。 | 関係者間で十分な話し合いや情報交換を行っている。 | | |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重 | | | | |
| 50 | プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。 | 声かけの内容や対応記録等がプライバシーを損なわないよう努めている。トイレ誘導は他者にわからないよう声をかけている。 | | |
| 51 | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。 | 本人の思いや希望を優先するようにしている。 | | 本人の希望が優先できないときは、納得できるように説明する。 |
| 52 | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 一人ひとりのペースを大切にしている。 | | 本人のペースに添うよう努力する。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|-------------------|--------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | |
| 53 | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | 本人の希望にあわせて美容院に行くこともあるが、最近は訪問美容サービスを利用することが多い。 | | 本人の希望される美容院に行けるように支援する。 |
| 54 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 一人ひとりの好みを聞き、利用者と職員と一緒に準備して食事をいただき、後片付けをしている。 | | |
| 55 | 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 飲酒と喫煙はされていない。 おやつと飲み物は皆さま一緒のものを食されている。 | | 一人ひとりの好みも検討する。 |
| 56 | 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 一人ひとりの排泄のパターンを確認しトイレ誘導を行っている。 | | |
| 57 | 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 毎日入浴できるようにしている。 | | |
| 58 | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 室内の温度等の環境に気をつけ安眠、休息ができるよう支援している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|--------------------|----------------------------------|
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 本人が役割をもちホームの生活を楽しめるように心がけている。 | | 楽しみごとや気晴らしができるよう支援する。(歌、踊り、散歩等) |
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | 買い物のとき支払いをお願いするようにしている。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | スーパーに買い物に行ったり散歩に行ったりしている。 | | |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。 | 利用者様の希望されるお店に個別で買い物に行ったりしている。 | | |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。 | 利用者様の希望で電話をしたり、手紙を出したりすることを支援している。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | ご家族等の訪問時自室やホールにて居心地よくゆっくり過ごせるようお茶を出すなど工夫している。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|---|------------------------------------|-------------------|---------------------------------|
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束をしないケアをしている。 | | 研修会等に参加する。 |
| 66 | 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | やむを得ない時意外は鍵をかけないよう取り組んでいる。 | | |
| 67 | 利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 利用者様が安全に暮らせるよう配慮している。 | | 利用者様の所在や様子の把握をする。 |
| 68 | 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 利用者様の状態に応じ危険を防ぐ取り組みをしている。 | | 危険防止の取り組みの継続。 |
| 69 | 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 利用者様の状態に応じ事故防止に取り込んでいる。 | | 事故防止の取り組みの継続。 |
| 70 | 急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。 | マニュアルを作成し、利用者様の状態に応じて対応できるようにしている。 | | 職員が応急手当や初期対応ができるよう勉強会に参加する。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------|--|---|-------------------|---------------------------------|
| 71 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 火災に関しては半年に1回避難訓練を行っている。 | | 近所の人にも協力を得られるよう働きかける。 |
| 72 | リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。 | 利用者様が起こりうるリスクについてはご家族に話をしている。 | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 毎日体温、血圧、脈拍は測定している。 体調不良の時は受診等の対応をしている。 | | |
| 74 | 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 職員は一人ひとりの薬を把握し確認して服用してもらっている。 | | |
| 75 | 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。 | 便秘薬を服用している人もいるが、飲食物の工夫や体操で体を動かすようにしている。 | | 散歩や体操等の働きかけを多くもつようにする。 |
| 76 | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 義歯の洗浄を介助で行う。 自分でできる人は声かけ確認を行う。 | | |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|--|-------------------|---------------------------------|
| 77 | 栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。 | 栄養のバランスを考え飲水が少なくなならないように支援している。 | | 一人ひとりの食べられる量、栄養のバランスに気をつける。 |
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり，実行している。 (インフルエンザ，疥癬，肝炎，MRSA，ノロウイルス等) | マニュアルを作成し対応している。 | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために，生活の場としての台所，調理用具等の衛生管理を行い，新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。 | 石鹸使用で手洗いの励行 次亜塩素系漂白剤を使用し調理用具の消毒を行っている。 食材は新鮮なものを使っている。 | | |
| 2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族，近隣の人等にとって親しみやすく，安心して出入りが出来るように，玄関や建物周囲の工夫をしている。 | 玄関の周りには花が絶えないようにしている。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等)は，利用者にとって不快な音や光がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 家庭的な雰囲気ができるよう工夫している。 | | 季節感を採り入れ居心地よく過ごせるよう支援する。 |

| 番号 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------|---|---|-------------------|---------------------------------|
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。 | 和室で寝たり、ソファで話をしたり、思い思いに過ごされているようである。 | | |
| 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | 寝具、小物等は本人が使われていたものを持ってこられている。居室が殺風景にならないよう利用者や家族と相談し飾り物を置いたりしている。 | | |
| 84 | 換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。 | 換気に努め温度計を設置し、温度調節はこまめに行っている。 | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 | 必要に応じ手すり等は設置してある。転倒されないよう環境を整えている。 | | |
| 86 | わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。 | 利用者が混乱、失敗がないよう部屋の表札を大きくしたりトイレをわかりやすくしている。 | | |
| 87 | 建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。 | ベランダで花を植えたり水をやったりされている。 | | ベランダで利用者が楽しめるよう工夫する。 |